

公表：2021年3月 日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

職員数：8名 回収数：8枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	意見・工夫している点	改善目標・内容
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・コロナ禍で密にならないように部屋を分けて分散し活動を実施している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8			・人員基準は満たしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			・新しく始まることは職員間で意見を出し、実践、改善と話し合いをしながら進めている。 ・会議やミーティング等の時間に話し合いの場を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・年間行事アンケートをとったり、その他イベント後にアンケートをとって保護者の意見を取り入れている。 ・保護者の意向を職員間で周知し、改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	2		・コロナ禍で外部の方の訪問は制限している。コロナ感染症が収束した際には、検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・研修等の案内は掲示している。 ・今年はコロナ禍で研修の中止が相次いだが、オンラインの研修を活用している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・聞き取りを行い、職員1人1人の多様な意見を聞き計画作成している。	・今後オンラインでの相談や聞き取りも検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・活動プログラムを一人に任せきりにするのではなく、職員全員ができるように協力している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・集団での外遊び、療育活動室、プレハブ活動もマンネリ化しないように、チームで考えている。 ・曜日やその日の利用人数等を見て、日替わりでプログラムを組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・各児童のレベルに応じた適切な課題を設定していると思う。	・今後、評価基準を設け課題を設定していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・朝礼や活動前に話をし、職員間での共通理解はできている。 ・ミーティングファイルでも申し送りをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		・支援終了後すぐに振り返りの時間をとることは送迎等の関係で難しい。急を要する場合は話し合いをしているが、振り返りや報告は翌朝に実施している。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8					
関係機関や 保護者との 連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8		・各学校により連絡調整ができていない学校とできていない学校で差がある。	・各学校の意識もあると思うが、今後の課題である。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	・ご家族からや児童発達支援事業所からの情報共有はできている。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			・対象者はなし。	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・研修案内や相談等については連携が取れている。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	・月1回のフェア体験時に地域の子どもさんとの交流の場は確保できている。	
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・送迎時や連絡ノート・電話連絡などを通じて状況等は伝えている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		・ペアレントトレーニングも今後検討・課題である。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・必要に応じて面談や電話相談に応じている。内容によっては他機関の紹介も実施している。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	・コロナ禍もあり父母の会・保護者会などの積極的な支援はしていない。	・意見は分かれると思うが、保護者の参加の有無をお聞きし、少人数での活動を検討する。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・「きららだより」を月1回、法人での機関誌を年1回発行し、情報発信している。 ・行事前には、行事連絡を紙面または電話連絡している。	
	34	個人情報に十分注意しているか	8			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・視覚的提示・簡潔に具体的に話すなど個々のご家族に合わせ配慮している。	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		・同法人事業所の月1回フェアに社会体験学習として参加し、地域住民の方とも交流も図っている。	
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		・法人全体での訓練は実施できている。 ・長期休暇などに防災学習を兼ね子ども達の行事として取り組んでいる。	・全員が参加できるような訓練方法や個々の特性に応じた訓練内容を検討する。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3	・事前に家族より聞き取りを実施している。医師の指示書はないが保護者の申し出により、アレルギーについては配慮している。	・既往歴・アレルギーがある子どもさんの一覧表を作成し、周知できるようにする。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・項目ごとにまとめ、原因、改善策を記入し再発防止に努めている。	